

特集

ともなり様がゆく

約800年前の鎌倉時代。

歴史の中心は、平氏から源氏の舞台に移っていった。

そして、3代将軍実朝の時代。その側には、将軍の寵愛を受けた、ある御家人が仕えていた。

その御家人とは、川崎城に住み、塩谷荘と呼ばれる広大な領地を治めていた。
しおのやともなり
「塩谷朝業」だ。

全国的に見て、あまり有名でないかもしれないが、歴史の変わる瞬間に立ち会い、また和歌の世界に多大なる影響を残した人物。

今号では、そんな塩谷朝業の功績を紹介します。

塩谷朝業の人となり

本市の歴史の礎を築く

「ともなり」は川崎城を築き、武家屋敷のあった館ノ川、城下町であった川崎反町、幸岡の基礎をつくり、その後約400年、この地域が繁栄する礎を築いた功労者であったと考えられています。

また、今日、城の湯温泉センター、ふれあい館、自然観察ふれあい広場など川崎城跡を中心に整備が進められたこと、加えて、平成19年に立ち上がった「川崎城跡公園再生市民会議」の皆さんにより、市民の方の憩いの場所となるよう再整備が行われ、さらに5000個ものあんどんを灯す「光と音のあんどんまつり」が開催されるようになったことなど、今でも川崎城跡を中心に多くの人が集っているのは、「ともなり」の功績にほかなりません。

豪族の二男として京都で生まれる

「ともなり」は、1174年、宇都宮業綱の二男として、京都で生まれました。

幼名は宇都宮竹千代。兄は頼綱で二人きりの兄弟です。祖父は、鎌倉時代の有力な豪族と言われた宇都宮朝綱です。

京都育ち

「ともなり」が生まれたころは、平清盛を中心とした平家一族が全盛をきわめ、祖父朝綱は、京都で大番役（天皇の御所を守る役）として、平氏に仕えていました。そのため、京都に館をかまえ、そこで「ともなり」は、6歳ごろまで兄の頼綱、母、祖母とともに過ごしました。父業綱は、宇都宮で宇都宮家を治めていました。

都文化と「ともなり」

「ともなり」は、武将に必要な弓道、馬術、学問などの教育を受ける一方、母は、公家の娘で、祖母とともに教養が大変高く、「ともなり」と頼綱兄弟は、豪族の若さまとして、恵まれた家庭環境と京文化の中で育ち、和歌の才能を磨きました。

御家人、富強の宇都宮氏

「ともなり」が生まれた宇都宮家は、名門でした。源頼朝が鎌倉幕府を開くと、祖父の朝綱は重要な御家人の一人になりました。

また、宇都宮氏は、鎌倉幕府の東大寺建築、大仏修理の際に重要な脇仏を担当するなど、その富強（財力、兵力など）は天下に名だたるものだったようです。1192年、「ともなり」19歳、兄頼綱21歳の時、父業綱は37歳の若さで亡くなりました。二人は、祖父朝綱の意見を聞きながら、富強、宇都宮一族を治めていきました。

宇都宮竹千代から塩谷朝業に

19歳の「ともなり」は、塩谷氏（矢板市）の養子に入りました。5代目の塩谷朝義に男の子がいなかったため、宇都宮家から「ともなり」を養子に迎えたのです。養父の塩谷朝義の「朝」と実父、宇都宮業綱の「業」を合わせ「朝業」と名乗りました。いよいよ「塩谷朝業」の誕生です。

塩谷氏は、はじめ堀江氏といい、先祖は源氏の名将、源義家（八幡太郎義家）と言われています。その義家の子孫、頼純が、塩谷地方を治めるようになり、塩谷氏が始まったようです。

塩谷氏のルーツ

御前原城

塩谷家初代頼純は、1120年ごろ、御前原城を築きました。

また、3代目惟頼は、現在の場所に木幡神社を建て替え、塩谷氏の氏神としたと言われています。「ともなり」が養子にきたころは、この御前原城か、館ノ川の館に住んでいたと思われるます。

川崎城

塩谷家に養子に入った「ともなり」は、敵から一族を守ろうと川崎城を築きました。川崎城は、宮川と弁天川にはさまれた山の上に構え、南北には深い堀を掘ったので、敵が攻めにくい城でした。また、見晴しもよく御前原城や木幡神社も眺められました。1199年から1204年ごろにかけて築かれたようです。

光と音に酔いしれる

8月24日(土)、川崎城跡公園で6回目となる「光と音のあんどんまつり」が開催されました。このまつりは、初代川崎城当主の塩谷朝業公の霊を供養しようと、川崎城跡公園再生市民会議の皆さんを中心とした市民ボランティアにより企画・立案され実施しています。

県道から「ともなり橋」までの間に、約5,000個のペットボトルで作ったあんどんが立てられ、幽玄の世界の中、来場者の目を楽しませていました。

メインステージでは、小学生や幼稚園児によるよさこいソーランや、剣舞、フラダンス、高校生による吹奏楽の演奏などが行われ、まつりを一層盛り上げていました。

そして、まつりの最後には花火が上がり、まさに会場全体が、「光」と「音」に酔いしれているようでした。



ともなり様ゆかりの土地



平成22年3月、強風の影響により、倒れてしまった鶴岡八幡宮の大銀杏。現在、根元から4メートルの部分をもともとあった場所から少し移して残している。もとあった場所では、若芽（ひこばえ）が芽を出し育っている。



古都 鎌倉



宇都宮辻子幕府跡

宇都宮辻子とは、鎌倉時代に鎌倉の鶴岡八幡宮から由比ヶ浜（相模湾）に向かって南北に延びる若宮大路の二の鳥居のすぐ南側にあった小道（辻子）で、若宮大路とその東側の小町大路の間を東西に結んでいたところ。下野国宇都宮社の神職で、平安時代末期に京で左衛門尉を務めるなど鎌倉幕府の有力御家人となった宇都宮朝綱（朝業の祖父）ら宇都宮氏の鎌倉の居館がこのあたりにあったことからこの名で呼ばれるようになりました。第3代執権となった北条泰時は源氏政権から合議制を旨とする執権政治への移行を目指し、大倉の幕府政庁を鶴岡八幡宮の南側、北条得宗家住宅の近隣地に移転しました。この移転先の政庁敷地が宇都宮辻子に南面していたことから、この新幕府政庁は特に「宇都宮辻子幕府」と呼ばれています。



修 学旅行など、毎年多くの観光客が訪れる鎌倉。その中で、もっとも多くの人々が足を運ぶところの一つが「鶴岡八幡宮」であります。鎌倉時代のこの場所で、「ともなり」の人生を大きく変える大事件が発生しました。「ともなり」は、鎌倉幕府の三代将軍源実朝の御家人として身近に仕えていました。実朝が鶴岡八幡宮に詣でる途中に、大銀杏の陰に隠れていた、おの公暁によって暗殺されてしまいます。「ともなり」も近侍として将軍の側にいました。その目の前で起こった事件。その衝撃は、計り知れなかったことでしょう。この事件の一年後、「ともなり」は、出家し、名前を「信生」と改めました。そして、それからの人生は、供養と旅を中心に過ごしました。そんな二人の関係を表しているのが、次の句です。

建暦二年（1212年）二月一日の朝、実朝が使者を出し、誰からの使いかを名乗らずに、歌と梅の花を「ともなり」に届けさせました。

「君ならでたれにか見せんわが宿の軒端にほふ梅の初花」

これを受け取った「ともなり」は、この歌が実朝から贈られたものだと知り、即座に歌を送り返しました。

「うれしさもほひも袖にあまりけりわがためおれる梅の初花」

このことが、「吾妻鏡」や「新和歌集」に書かれています。

また、出家した「ともなり」は、各地を旅し、その記録を歌日記「信生法師集」に残しています。そこには、出家した「ともなり」に8歳の娘が送った歌と返歌が残され、親子の情愛が記されています。

「うらめしやたれをたのめとすてゆくわれをおもはばとくかえりこよ」
「はぐくみし母もなきすのひとり子をみすていかかへらざるべき」

この歌日記は、現在宮内庁に残されていて、それを写した歌碑が川崎城跡公園に残されています。

故郷 宇都宮



宇都宮城は、関東七名城の一つとされるお城でした。その歴史は古く、平安時代後期に建造されたと言われています。現在では、本丸の一部が復元されています。

華麗なる宇都宮歌壇

鎌倉時代、京都、鎌倉と並び、宇都宮歌壇が隆盛を誇っていました。特に「ともなり」の兄、蓮生（出家した頼綱）が有名です。蓮生は、あの有名な「小倉百人一首」の選者である「藤原定家」と親交が深く、姻戚関係を結ぶほどでした。その「小倉百人一首」も、もともと蓮生が新築した山荘のふすまに描く歌を選んでもらったことが、きっかけであったとされています。この蓮生・信生兄弟のほかに、宇都宮氏は、多くの優れた歌人や文化人を輩出しています。鎌倉幕府の引付衆や評定衆として活躍

した7代影綱や承久の乱（1221年）で勇名を馳せた、蓮生の二男横田頼業などが多くの歌集にその歌を残しています。

宇都宮辻子幕府

信生や蓮生が京都を中心に交遊を続け、蓮生の嫡子の泰綱が幕府に出仕を始めたころ、時の執権「北条泰時」は、幕政改革を行って、成敗式目「五十一カ条」を定めて、武家法の創始者となった人物です。この泰時は、同年十二月に、源頼朝以来の鎌倉幕府を宇都宮辻子に移しました。この宇都宮辻子とは、若宮大路の脇を通る小路のこと。当時宇都宮一族の屋敷が多くあったことにちなんでいます。信生や蓮生が当時、暮らしていたところに鎌倉幕府が移され政治が展開されたこととなります。

ともなりくんグッズを売り出ませんか!?

誕生以来、さまざまなグッズが生まれてきたともなりくん。あなたの商品にも、ともなりくんを使ってみませんか。ご利用には以下の条件以外にも取り決めがありますので、詳細については、ホームページをご覧になるか、総合政策課までお問い合わせください。

申請対象 / 市内に事業所等を有する法人、団体など

許可要件 / 矢板市のPRにつながると認められる場合など

申請書 / ホームページからダウンロードいただくか、総合政策課窓口にてお渡しします。

利用例 / バッジやクリアファイルなどのキャラクターグッズ、加工品や農林水産物のパッケージ、印刷など

申請・問い合わせ / 総合政策課 ☎(43)1112

HP <http://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/sougouseisaku/tomonarikun.html>



ゆるキャラグランプリ2013に参加するナリ!!

上位入賞できるように、がんばるから
みんなも投票よろしくナリ!

9月17日(火)10:00~
投票開始

HP <http://www.yurugp.jp/>

ともなりくん。つぶやいています!

市の公式Twitter(ツイッター)で、ともなりくんが矢板市のPRや市の情報をつぶやいています。また、たまに短歌を詠むこともありますよ。皆さんも是非登録してくださいね。

市ツイッター公式アカウント https://twitter.com/yaita_city



作品募集 第15回ともなり文芸祭り

応募期限 / 10月31日(木)必着

種目 / 短歌、俳句、川柳、詩(漢詩を除く)

部門 / 小学生、中学生・高校生、一般

応募資格 / 県内に在住または通勤・通学している方

※短歌一般の部のみ全国から募集

応募要領 / 短歌・俳句・川柳…専用応募はがき(生涯学習課などにあります)で応募。一人につき2首(句)まで。

(短歌一般の部は、1組2首で何組でも可。)

詩…400字詰め原稿用紙2枚以内で応募。一人につき1編まで。

※いずれも自作・未発表のもの(二重投稿不可)

投稿料 / 短歌一般の部のみ1組2首で1,000円(現金書留か定額小為替を利用)

※短歌一般の部にお申し込みの方には入賞作品集を差し上げます。

日時 : 平成26年2月23日(日) 13:00開会

会場 : 矢板市文化会館大ホール

内容 : 篠弘氏(歌人)による講演会、表彰式、講評

応募方法 / ※黒のボールペンで次の項目を記入し、下記まで直接または郵送で応募

①種目 ②部門 ③作品 ④住所・郵便番号

⑤氏名・ふりがな ⑥年齢 ⑦電話番号

⑧学校名・学年 ⑨ともなり文芸祭り式典の出欠

賞 / 大賞、準大賞、奨励賞、入選

※応募の際に記入いただく個人情報、ともなり文芸祭り事業以外の目的には使用いたしません。

応募先・問い合わせ /

〒329-2165 矢板市矢板106-2

矢板市生涯学習課「ともなり文芸祭り」係

☎(43)6218

ともなりくん、出番ですよ!!

募集 ともなりまつりフリーマーケットの出店者

ともなりまつりでは、一緒に祭りを盛り上げてくれる方を募集しています!

開催日 / 11月3日(祝)

場所 / 文化会館周辺

ボランティアスタッフ

会場内にエコステーションを設置し、ゴミの再資源化を推進します。エコステーションでゴミ分別の協力をさせていただきます。

時間 / ① 10:00 ~ 12:30

② 12:30 ~ 15:00

申込期限 / 9月27日(金)までに電話でお申し込みください。

申込・問い合わせ / ともなりまつり実行委員会事務局(総合政策課) ☎(43)1112



フリーマーケット出展者

ともなりまつりでフリーマーケットを出店してみませんか?

場所 / 市役所駐車場(体育館前)

申込期限 / 9月29日(日)までに電話でお申し込みください。

申込・問い合わせ / フリーマーケット担当 室井 ☎090(8746)0541



さまざまなイベントにともなりくん参加中!!

市の公式キャラクターともなりくんですが、まだまだ知名度が低いのが現状です。そのため、さまざまなイベントに参加し、認知度を高めながら矢板市のPRを行っています。皆さんも見かけたら声をかけてください。



①FITフェア(有楽町) ②野木ひまわりフェスタ ③県民の日記念イベント(県庁)
④道の駅しもつけ ⑤道の駅やいた